

「知ろう」そして「考えよう」

南中国書館だより

2025年11月号

「今年は10月に入っても、まだまだ暑いなあ」と思っていたのですが、ここ数日で一気に秋が深まりました。

朝、なんだか肌寒くて目があいたという人もいるのではないのでしょうか。 学校周りの木々の葉もどんどん色づいていますね。

2025年の立冬(りっとう = 冬の始まり)は11月7日。 今年も、寒い冬がまだかまだかと出番を待っています。

紅葉を見る間もなく、気付いたら「秋」が終わってた・・・ということがないよう、この美しい季節を十分に楽しみましょう！



社会科

いま "公民" が おもしろい！

1年生・2年生さんのなかには、「公民」という言葉を初めて聞いた人もいるかもしれませんね。

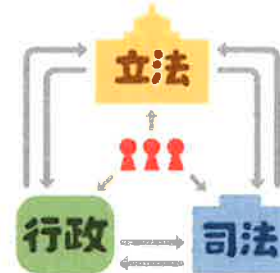
小学校で「民主主義」について学んだときに、この図を見たことはありませんか？

この図は「三権分立」をわかりやすく表しています。

立法権は国会が、行政権は内閣が、司法権は裁判所が、それぞれ持っています。

3つの権利を別々に分けることで、国家の権力がひとつに集中しないようにして、

国民の自由と権利を守っています。



さて先日、内閣総理大臣が新しく選出されました。 ニュース・新聞等を見たり、おうちの人から教えてもらったりしたかな？

でもひょっとして、みなさん「え～、誰がなっても一緒だし～、別に変わらんし～、関係ないし～」とっていませんか？

例えば・・・ みなさんも、南中の生徒会長やリーダーたちを決めた時には、選挙を行いましたよね。

「この人なら、みんなの希望をしっかりと聞いて、がんばってくれそう」とか、「この人なら、スクエアをまとめていってくれそう」と思った人を選んで、みなさんは投票したことでしょう。

「この人なら!」と思った人を、選んで投票できる権利は、

民主主義の、とても大切な前提だと思います。

選ばれた人が、これから何を行ってってくれるのか・・・

わたしたちの今を、そして未来を変えていくことだからこそ、

おとな、こども関係なく「知って、考えていく」必要があります。

読んでみよう！

『僕たちはまだ、総理大臣のことを何も知らない』

長谷部 京子／監修 Gakken

『日本の府省のしごと事典 ①～⑦』

こどもくらぶ／編 岩崎書店

『話したくなる世界の選挙』

コンデックス情報研究所／編 清水書院

公民で学ぶのは、もちろん、選挙だけではなく。

自由権・平等権などの基本的人権についてや、

景気や金融、財政に関すること、などなど・・・

知りたいこと・知っておきたいことが満載です！

だからこそ、**いま、社会科 "公民" が おもしろい！**

こちらもおすすめ！

『マンガでわかる 中学社会 公民』

竹屋 まり子／マンガ Gakken

『きみのお金は 誰のため』

田内 学／著 Gakken

(小説版。マンガ版どちらもあります)



図書館だより de Bibliobattle ビブリオバトル！

この本を、
「推し」ます！

みなさん、前期の「図書館だより de ビブリオバトル!」に、参加してくれて、ありがとう！

後期も引き続き、図書委員の「推し本」を、みなさんに紹介していきますね。

11月号は、下記の6作品です。「この本を読みたいなあ～」と、
あなたが感じた「おすすめ文」に、ぜひ清き一票をお願いします! (=^へ^=)

11月21日までに、
「なんちゅー図書館」
(classroom)の
Googleフォームから
投票してね！



A

『ふしぎの国のアリス』

ルイス・キャロル

白うさぎを追いかけて、穴におちたアリス。穴の中のふしぎの国にいたのは、イカれた帽子屋に三月うさぎ、ハートの女王と子どもたち。大きくなったり小さくなったりあべこべめちゃくちゃな夢の話。

(1年生)

B

『52ヘルツのクジラたち』

町田 そのこ

主人公の貴瑚(きこ)は、長年にわたって虐待や束縛をうけていた。恩人を亡くしたことをきっかけに大分に引っ越し、静かに暮らそうと思っていた。そこで自分に似た境遇の少年と出会い、彼を救おうとするのだが・・・

(2年生)

C

『あの花が咲く丘で、
君とまた出会えたら。』

汐見 夏衛

僕の「推し本」です。この本は、現代の女子高校生が、戦時中の日本にタイムスリップし、特攻隊員の青年と恋に落ちる物語です。お互いが惹かれていくものの出撃があり・・・切ない恋です。

(2年生)

D

『アルプス席の母』

早見 和真

シングルマザーの看護師 秋山菜々子のひとり息子 航太郎は、甲子園を目指して大阪の高校へ進学します。菜々子も一緒に大阪へ引っ越して息子を支える・・・という物語です。

(2年生)

E

『あやしの保健室』

染谷 果子

異界からやってきた養護教諭 妖乃(あやの)が子どもたちに特製アイテムをつかって寄りそう不思議な保健室の物語です。特製アイテムは子どもの感情や思いを形にする力を持ちますが、副作用もあります。使う時には注意が必要です！

(1年生)

F

『ともぐい』

河崎 秋子

人里離れた山で、熊爪(くまづめ)は相棒の犬を連れて、ひとり狩りをして生きていた。ある日血痕をたどっていくと、負傷した男を見つけた。男は冬眠していない熊「穴持たず」を追ってここまでやってきたと言うが・・・

(3年生)



- ・「話が面白い人」は何をどう読んでいるのか
- ・ お米ができるまで
- ・ 蛍たちの祈り
- ・ 日本語界限
- ・ NO.6 再会 #2
- ・ きみだけの「仕事」探究図鑑
- ・ 一生忘れない言の葉図鑑
- ・ 日本の城大事典
- ・ キノの旅 XXIV
- ・ 異世界薬局 ⑦⑧
- ・ みんなこわい話が大好き
- ・ 銭天堂 吉凶通り ④
- ・ 愚か者の身分
- ・ 漫画 きみのお金は誰のため
- ・ グリーンインフラって何だろう?
- ・ 本当の赤すきん
- ・ りんごの棚と図書館バリアフリー ①②③
- ・ 遠井さんと学ぶ 中学社会 1001
- ・ やなやつ改造計画
- ・ 銀魂 3年Z組 銀八先生でらくす
- ・ クマはなぜ人里に出てきたのか
- ・ えすていばあず
- ・ 恋に至る病
- ・ シリアの秘密の図書館
- ・ ミルキーウェイ 竹雀農業高校牛部
- ・ 七月の波をつかまえて
- ・ 地政学ボーイズ ⑥⑦(貸出不可)
- ・ 3月のライオン ⑱(貸出不可)
- ・ ほか・・・

11月に入った本です!
図書館の「新刊コーナー」を
チェックしてね!

